

HPSC利用に当たっての新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン

2022年2月22日改定
一般社団法人 日本ゴールボール協会

HPSC利用にあたっては、「HPSCにおける新型コロナウイルス感染症に関する感染防止対策」及び令和4年1月21日付発出「HPSC利用時における感染防止対策の徹底及び検査体制について」を遵守する。

また、目に見えないウイルスと戦うためには、これまで以上の衛生管理を徹底することが肝要であり、お互いがお互いを「守る」ことを忘れずに、次の方針に従ってHPSCを利用する。

1 入館前後

(1)3密を避けるなどの感染症対策を徹底した行動を行う。

(2)日頃の健康管理に努め、入館2日前からの「体調及び行動履歴(行動記録、接触者、場所)の記録」、3日前以内の「施設外検査」を徹底する。

(3)少しでも体調の変化や体への違和感がある場合には、すぐに強化委員長に連絡し、その後の行動について相談と確認を行う。

(4)以下、2点については、特に徹底する。

①体調が良くない場合は、来館・施設利用を控える。

②家族の方等に体調の悪い方がいる場合には、来館・施設利用を控える。

2 共用コート利用時

(1)コート入室前には手洗いをを行い、出入り口では手指の消毒を行う。

(2)出入りでのシューズの履き替えを徹底する。

(3)荷物を置く距離を確保し、互いの距離感を意識して、準備体操、ストレッチを行う。

(4)補食の準備等を行うスタッフは、消毒用手袋を着用する。

(5)補食は、小包装のものを利用したり、事前に配布したりするなどし、近距離で飲食を共にしないようにする。

(6)運動を行っていない間や運動強度が低い内容のトレーニング時には、マスクを着用する。

(7)一度外したマスクは着用せず、常に清潔なマスクを着用する。

★(8)1時間程度に1度、共用コート器具庫の外扉、内扉、出入り口を開放し、換気を行う。

→共用コートAの換気システムについて、現在ハイパフォーマンススポーツセンター運営部施設管理課に確認中。

(9)練習中、共用物品を使用してレフェリー・オフィシャルテーブルの業務を行う際には、手袋を着用し、手指の消毒をしてから実施する。

(10)共用する用具(電子ホイッスル、ストップウォッチ、ホーン、タイマー等)については、使用前後で必ず消毒作業を行う。

(11)私物(アイシェードやサポーターなど)の管理を行い、衛生面には十分配慮し、清潔を保つ(各自、アルコール消毒及び洗濯等をこまめに行う)。

(12)使用するボールについては、午前と午後で使用するボールを変更し、ボールの消毒作業を徹底する。

(13)ボールやボールかご、ゴールバー、コート内ディフェンスライン付近のフロア等の消毒作業は、その日の「消毒チーム」のみが対応する。その際、消毒作業に当たらない選手及びスタッフは、コート外にて待機する。

※消毒について

- ①「消毒チーム」は、主にスタッフを中心に構成し、合宿期間内には極力メンバーの交代はしない。
- ②消毒作業前後には、手洗いを行い、消毒用手袋を着用して作業に当たる。
- ③消毒作業は、練習メニューの切り替え時に行う。
- ④消毒作業にかかる時間を十分に考慮して、練習メニューの組み立て、実行を行うので、慌てずに作業を行う。
- ⑤消毒チームの、消毒完了コールがあるまで、練習の再開は行わない。
- ⑥消毒の方法は、一方向の拭き取りとし、往復させての拭き取りは行わない。
- ⑦消毒作業に使用するシートはこまめに置き換え、シートにアルコールが十分に染み込んでいることを確認する。
- ⑧消毒作業に使用したペーパーや消毒用手袋は、専用のゴミ袋に入れてすぐに密封し、廃棄する。

(14)使用したマスクは、専用のゴミ袋に入れてすぐに密封し、廃棄する。

3 入館中共通事項

- ・一定の距離感を意識し、マスクの着用、手洗い、手指消毒、飛沫エチケットなどを心掛け、練習環境の確保に努める。
- ・手引きなどでの移動について、同行者への配慮を忘れず、お互いエチケットを守る。
- ・スタッフは、選手の安全に配慮し、適切な環境保全に務め、感染予防対策を講じる。
- ・自室内でも、定期的な換気(1時間に数分程度)を実施する。

(1)食堂の利用について

- ・さくらダイニング等が示す指針に従う。
- ・メニューの読み上げなどを行う際には、声量が大きくなりすぎないように留意する。

(2)大浴場等の利用について

- ・マスクを外した状態で利用する大浴場及び交代浴を利用する場合は、感染リスクが高まることを意識し、会話を慎んで利用することを徹底する。
- ・同部屋の者同士での利用を原則とし、同時入浴者数が5名以上にならないよう留意する。

(3)ミーティング等について

- ・東京都の感染レベルが2以上の場合、自室や共用コートTR内での画像検証、チームミーティングは行わない。
- ・オンラインも活用しながら、十分な広さを確保できる場所を実施していく。

(4)ジムの利用について

- ・入館前の手洗いと手指の消毒を徹底する。また、必要に応じて清潔な手袋、グローブなどを装着する。
- ・急な体調不良があった場合には、指導員と前田に必ず連絡し、ジムの使用を控える。
- ・その他は、トレーニングジムの指導員の指示に従う。

4 体調不良が生じた場合

(1)本人及びトレーナーから、体調不良等の状況を強化委員長に報告する。

※本人への聞き取り内容

- 体調不良の状況(発症日時、発熱〇℃、嘔吐あり等)
- 2日前からの行動履歴

(2)体調不良の者、その同室の者、2日前までにマスクを外した状態で接触していた者(練習時、食事は除く)は、自室待機とし、安静及び経過観察を行う。

※指示があるまで、食堂等の利用は停止する

(3)強化委員長は、「HPSCにおける新型コロナウイルス感染症に関する感染防止対策」2020年12月18日更新版P8、「6.体調不良、COVID-19 の感染疑いや濃厚接触者認定となった場合の連絡先・対応」に沿って関係期間に連絡、受診等に関しての指示を受ける。

※平日 8:30～17:00

HPSCスポーツメディカルセンター 03-5963-0211

※休日

HPSC 感染症対策窓口メールアドレス hpsc-ict@jpnsport.go.jp

CCにて、JPCに報告 jpc-ntc@parasports.or.jp

(ドクターと相談の上、必要に応じて)

HPSC利用時検査受付担当窓口 03-5963-0246

hpsc-kensa@jpnsport.go.jp

(4)体調不良が生じた連絡を受けたら、スタッフは直ちに「緊急対策本部」「消毒チーム」「生活支援チーム」に分かれ、強化委員長の指示の元、各業務の遂行に当たる。

①「緊急対策本部(ETF)」は、強化委員長・男子チームコーチ・主任トレーナー・トレーナー4名で構成する。

・主な業務内容

- HPSCスポーツメディカルセンター・感染症対策窓口・JPC・JPSA・HPSC利用時検査受付担当窓口とのやり取り。(電話及び提出書類の作成)

- 体調不良者及び、必要な場合はその保護者との対応
 - HPSC内での接触者の判断
 - 合宿中止等の判断
 - チーム内への情報共有
 - 体調不良者の輸送計画立案
 - 遠方からの参加者で、帰宅困難な場合の対応
- ・強化委員長が指示を出せない状況である時、次の順位で強化委員長に代わって、指示を出す。
 順位1:男子チームコーチ 順位2:主任トレーナー 順位3:トレーナー

②「消毒チーム」は、強化スタッフ5名で構成する。

- ・主な業務内容
 - 共用コート利用時の消毒作業の手順に従って、コート全体、当該体調不良者が触れたと思われる箇所を消毒する。

③「生活支援チーム」は、強化スタッフ2名で構成する。

- ・主な業務内容
 - 食事の買い出しと配食→直接的な接触は避け、入口前での置き配などで対応する。
 - PCR検査等キットの配布と回収、提出 →配布・回収に当たっては、消毒用手袋着用のこと
 - （必要な場合）飛沫防止車両の運転

(5)その他の選手及び業務がないスタッフは、強化委員長から合宿の中止等、次の指示があるまで自室にて待機する。(食堂の利用は可能)

(6)消毒チームによる消毒作業が終了しない限り、共用コート内への立ち入りは一時停止する。

(7)チームが解散後、体調不良者と接触した選手及びスタッフは、7日間、強化委員長に体調報告をする。

(8)報告書を、JPC(屋敷・見城)にメールにて送信する。

jpc-ntc@parasports.or.jp

5 COVID-19 の感染疑いや濃厚接触者認定の連絡が本人に来た場合

- ・速やかに強化委員長に報告し、自室にて待機する。
- ・その他の動きは、上記4 体調不良が生じた場合に準じる。
 ただし、感染疑いや濃厚接触者の連絡先については、次の場所に変更となる。

統括団体を通じて、HPSC 感染症対策窓口に連絡すること
 (統括団体に連絡が取れない場合は、直接HPSC感染症対策窓口)に連絡可)
※全日 8:30~21:00
HPSC感染症対策窓口 03-5963-0201